

## はじめに

私たちのまち塩竈市は、豊かな海に囲まれた自然を有し、これらの自然から多くの恩恵を享受し、発展してまいりました。この豊かな自然を次世代に引き継ぐことは、私たちの重大な責務であります。

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により猛暑やゲリラ豪雨などの自然災害が国内外にて発生していることから、各国及び地域が主体的に地球温暖化対策を講じることが求められております。

国では、令和2年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。これを受け、多くの自治体では2050年カーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、自治体ごとに脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めるなど、国内外において地球温暖化対策の機運が高まっております。

このような中、本市は令和4年度の施政方針において「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し、「地球温暖化対策」という世界共通の課題に共に取り組むこととしております。

今後、市民の皆様や事業者の皆様のご意見をお聞きし、共に議論を重ねながら、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて地域資源を活かした本市ならではの脱炭素施策を検討してまいります。

本書は、令和2年度における本市の環境の現状及び市の目標・施策などについてとりまとめたものです。塩竈市の環境についてのご理解を更に深めていただければ幸いです。

令和4年7月

塩竈市長 佐藤 光樹